

クラス番号	713	担当教員名	渥美 浩子
テーマ	精神保健福祉領域における地域生活支援活動の課題とソーシャルワーカーの役割		
著書・論文	著書・論文：「精神障害者のホームヘルプサービスそのニーズと展望 中央法規（共）		
研究課題等	研究課題：「地域精神保健活動の整備・促進に関する研究」 「精神障害者在宅生活援助事業の推進に向けた技術支援のあり方検討」、「市町村支援の一環としての地域生活支援の取り組み」、「相談支援体制整備」、「精神障害者の自立支援法における総合な自立支援システの利用に関する研究」		

ゼミナール概要

キーワード：「精神保健福祉」「地域生活支援」「人と人のつながり」「相談支援」「ソーシャルワーカーの役割」

<目的>

障害を持った者が、他の人と同じように「何処で、誰と生活するかを選択できる地域社会」は実現していません。今、地域支援の体制や制度も抜本的な組み換えが行われて来ています。住み慣れた地域で、その人らしく 安心した生活が行えること、また障害者の主体性や選択性を尊重したサービス提供システムを創っていく取り組みが求められています。精神障がい者の地域生活を支援する事は、一人の援助者だけでは出来なく、多くの関係者や市民の理解と協力がなくては進まないのです。障がい者の住みやすい地域づくりは、障害者も市民も参加しながら皆の住みやすい新たな地域生活モデルの創出でもあります。こうした変革の時代にあればこそ、当事者の側に立って、支援する体制を創ることの出来る職種として、ソーシャルワーカーに多くの役割が期待されています。この課題に私も取り組んで来ました。現状を具体的に学び、障害者福祉の究極の課題といえるこの問題を考えていきましょう。

<学習目標>

文献考察やフィールドワーク等を通し、地域精神保健福祉の現状を知り、一人ひとりが問題意識を高め卒業論文をまとめていきます。またソーシャルワーカーに必要とされる視点・役割を学びこの分野に魅力を持てることを目指します。

<計画>

3 年生の前期は、障害者・家族・病院・支援機関・地域の現状及びソーシャルワーカーの活動など見学、先輩との交流及び文献考察を通し相互に学習します。また、地域に出かけアセスメントを行い現状分析します。

文献活用の図書検索の方法なども学びます。

後期には、事例や文献を読み、ソーシャルワーカーの支援・役割についても学び、各自の関心のあるテーマの焦点を絞りプレゼンテーションも行います。

4 年生は、卒業論文を執筆します。ゼミ内で検討も行い相互に学習します。

また、就職活動や、国試対策、ソーシャルワーカーとしての今後の生き方などについて意見交換など行いましょう。

そして当ゼミでは2年間、各自が「気づきノート」作り、日々の中での関心・疑問を記録し、ゼミで話し合い問題意識を高めていきます。

担当教員からのメッセージ

これからの地域社会生活は自己と他者の共存をいかに成り立たせていくかがテーマです。また人が生きる事を人が支援をすることは”人とひと”との関係が基本です。ゼミも”人とひと”の話し合える場、考えを深める場、ともに志す仲間と支えあえる場、大学生活・学びを豊かにする場と思います。意欲のある方、一緒に考えて行きましょう。待っています。履修に向けて>対人援助に関心のあること。地域精神保健福祉に関心と熱意のある事。また欠席しない事です。